

II 農業の6次産業化と、観光振興策に、食と農業の視点を提案

私は、文化・歴史・農地・森林などの地域資源を生かし、なおかつ、農地の保全や森林再生にもつながる環境・観光都市の取組を市に提案してきました。高尾山だけでなく、市民にも訪れる人にももっと魅力を感じてもらい、市財政の確保に向け、八王子にお金を落としてもらえる、観光振興策が必要です。市は、日本遺産の登録や都の東京たま未来メッセの開設、八王子駅南口のつどいの拠点整備事業などへの着手を背景に、ようやく観光振興に力を入れ始めました。

私は、12月議会では、農業の6次産業化を図り、農産物の販売に加え、それを活用した飲食や、加工製品の販売、さらにお土産物に活用していくなど、農業、工業、商業の融合、さらにそれらを観光振興にも活用していくよう、産業イノベーションの視点から、産業振興策の充実を求めました。



12月議会 本会議場での一般質問の様子

III エネルギーの地産地消の推進に向けて

▶太陽光発電の活用などエネルギーの地産地消は、市民・事業者の電気代負担軽減・温暖化対策・災害対策としても有効です。初期の負担が少なく取組ができるよう、国や都の補助金制度の活用も図るなど市の支援策の充実を求めました。



IV 人口減少社会における持続可能なまちづくりに向けて～空き家問題から考える～

▶私は、空き家の川上対策として、親御さんの生前時から、次世代に何をどのように継承していくのかを話し合う文化の醸成が重要と考え、家族の話し合いのきっかけとなるエンディングノートの作成を市に提案してきました。

12月議会では、私の提案を受け、市が進めようとしている、エンディングノートについて、住宅のみならず、農地や農業、森林の継承なども含め、よりよい継承のための

内容となるよう、確認の質問をしました。

人口減少社会に突入する今もなお、農地が宅地化され、住宅が建ち、一方で空き家が増えています。農地が減れば、食料の生産基盤を失うことになります。まちづくりの矛盾に正面から向き合い、持続可能なまちづくりに取り組んでいくよう、求めました。子育て支援をさらに充実させ、急速な人口減少社会に歯止めをかけていくことも重要です。

V マイナンバーカードやDX化推進と高齢化社会の課題

▶高齢者など、デジタル弱者の方が、よくわからないままマイナンバーカードを使い、詐欺などの犯罪に巻き込まれてしまうことがないよう、未然防止に向けた市の支援策の充実を求めました。



文教経済委員会委員長として活動

- 文教経済委員会では、「児童・生徒の登校支援～マンパワーとICTの活用～」をテーマに、所管事務調査を行ってきました。9月議会ではその調査結果をとりまとめ、議長に報告。その後、無事市に提言を出す運びとなりました。
- 私自身、長年不登校の問題に関わってきた経緯があり、期せずして委員長としてこの調査研究に携わることができたことは、大変ありがたいことです。学校や地域で不登校の支援をしている方々のお話は大変勉強になりました。皆様のご協力、ありがとうございました。これからも教育環境の充実に向け取り組んでいきます。

あなたのご意見・ご提案をお気軽にお寄せください！

生き生き八王子

〒193-0833
八王子市めじろ台3-19-14
E-mail info88@wakaokimie.jp

TEL&FAX 042-668-1020

HP <https://wakaokimie.jp> 若尾きみえ



若尾きみえプロフィール ◆略歴／1964年岡山県生まれ。岡山大学教育学部卒業。岡山市立の幼稚園にて教諭。結婚を機に退職し、その後、仙台市・富山市にて英会話講師。1998年から八王子市散田町の住民、2006年からめじろ台在住。八王子の豊かな自然やよりよい環境を子どもたちに残し、人のつながりの中で元気に暮らせるまちづくりをしていきたいとの思いを強める。2003年市議会議員初当選後、2期活動。2019年市議会議員再選、3期目。無所属。今期、文教経済委員長。◆主な活動実績／八王子市環境条例制定に向けて活動。八王子市西南部環境市民会議会員。めじろ台三丁目町会会長・自主防災隊長、地域で高齢者福祉・医療・介護問題や防災について取り組む。赤ちゃんから高齢者まで、みんなが健康で元気になるまちづくりをめざして活動中。まちづくり市民講座代表。◆趣味／柴犬・ガーデニング。音楽鑑賞・陶器。